

病院の 実力

～埼玉編 173

病院の実力「肝臓がん」
医療機関別2021年治療実績
(読売新聞調べ)

医療機関名	切除手術		焼灼療法 (人)	塞栓療法 (人)	免疫治療薬と分子標的薬の併用療法(人)
	総数 (人)	うち腹腔鏡 (人)			
埼玉					
埼玉医大国際医療セ	112	58	0	16	0
県立がんセ	88	38	0	23	21
埼玉医大総合医療セ	57	18	1	85	26
川口市立医療セ	42	19	3	10	4
上尾中央総合	37	36	28	10	24
東大宮メディカルセ	29	21	18	21	6
独協医大埼玉医療セ	26	6	9	27	10
さいたま赤十字	23	14	—	—	—
防衛医大	21	7	5	45	21
埼玉協同	20	7	1	31	1
埼玉医大	—	—	61	103	56
深谷赤十字	8	0	0	11	6
戸田中央総合	6	4	6	15	17
さいたま市民医療セ	2	0	1	12	2
越谷市立	1	0	0	0	0
春日部市立医療セ	1	0	0	0	2
秩父	0	0	6	17	0
新座志木中央総合	0	0	5	17	5
埼玉石心会	0	0	0	4	3
群馬					
伊勢崎市民	12	0	49	83	13
桐生厚生総合	7	0	33	48	17
済生会前橋	6	0	128	24	30
国・高崎総合医療セ	5	0	41	34	28
公立富岡総合	1	0	5	23	2
太田記念	1	0	0	1	0
県立がんセ	0	0	1	0	0
公立藤岡総合	0	0	0	0	1
千葉					
千葉大	53	8	139	75	90
国立がん研究セ東	48	42	52	88	54
慈恵医大柏	41	25	4	1	0
新松戸中央総合	28	3	31	48	26
おおたかの森	25	0	18	41	2
順天堂大浦安	20	1	0	0	1
県がんセ	19	0	0	11	7
亀田総合	17	13	12	52	2
東京歯科大市川総合	17	6	10	12	6
千葉西総合	15	14	1	21	7
船橋市立医療セ	14	9	10	15	6
国保君津中央	12	4	27	28	15
成田赤十字	12	2	0	0	2
国保旭中央	11	1	73	43	15
千葉旭洲会	10	7	4	19	4
キッコーマン総合	4	0	6	8	3
聖隷佐倉市民	4	0	1	10	7
新東京	2	2	0	0	0
千葉市立海浜	0	0	7	8	0

「国・」は国立病院機構、「セ」はセンター、「—」は無回答または不明

肝臓がん

今回は、「肝臓がん」を取り上げる。一覧表には2021年に手術などの治療を受けた人数を掲載した。

治療は、手術のほか、内科的な治療がある。がんの位置、大きさや個数、肝機能などで

選ぶ。

手術は、がんとその周囲を切除する。開腹手術と腹腔鏡手術がある。

腹腔鏡手術は、おなかに入れて小さな穴から器具を入れて、操作する。患者の心身への負担が比較的小さいが、肝臓には多くの血管が走っている。手術は、出血のリスクが

大きく、難易度が高い。経験豊富な医療機関で受けたい。

手術と並び、根治が期待できるのは焼灼療法だ。肝臓に電極針を刺して、ラジオ波などでがんを焼く。持病のある高齢者や肝機能が悪い人も実施できる。

がんが多発し、手術や焼灼療法が難しい場合は、肝動脈

塞栓療法を行う。がん細胞に栄養を運ぶ血管をふさぎ、がんを死滅させる。

転移がみられたら、薬物治療が柱となる。この10年余りで新薬が次々に登場した。2020年に公的保険が適用された免疫治療薬「セントリク

スチン(同)の併用療法は、

肝臓がんの原因の大半はC型、B型などのウイルスによる肝炎だが、画期的な治療が普及し、がんに進行する人は減っている。代わりに脂肪肝からの発がんの割合が増加しており、注意が必要だ。

脂肪肝から進行注意を

従来の治療より効果が高く、薬物療法の第1選択になっている。

肝臓がんの原因の大半はC型、B型などのウイルスによる肝炎だが、画期的な治療が普及し、がんに進行する人は減っている。代わりに脂肪肝からの発がんの割合が増加しており、注意が必要だ。

全国の調査結果は19日の「安心設計画」に掲載しました。

安心の設計

お便りは、
メールiryou@yomiuri.com
ファクス03・3217・1960

肝臓がんは、肺など別の臓器から転移したケースもある。今回は、転移したがんを除く原発性の肝臓がん(肝細胞がん)を対象とした。

肝臓にできるがんは、肺など別の臓器から転移したケースもある。今回は、転移したがんを除く原発性の肝臓がん(肝細胞がん)を対象とした。

病院の実力

243

一覧表は、①切除手術②うち腹腔鏡手術③焼灼療法④塞栓療法⑤免疫治療薬と分子標的薬の併用療法(人)

治療は、がんが3個以内の場合に行う。開腹手術と、おなかに開けた小さな穴から器具を入れる腹腔鏡手術がある。

富な病院での手術を勧めます。大きながんや血管にまで及ぶがんは、開腹手術が向いています」と話す。

富な病院での手術を勧めます。大きながんや血管にまで及ぶがんは、開腹手術が向いています」と話す。

がんが4個以上ある場合は、塞栓療法を行う。脚の付け根から肝臓の動脈に細い管(カテーテル)を挿入し、がんの手前でセラチンを入れてふさぐ。

がんが4個以上ある場合は、塞栓療法を行う。脚の付け根から肝臓の動脈に細い管(カテーテル)を挿入し、がんの手前でセラチンを入れてふさぐ。

次回(11月16日予定)は肺がん

次回(11月16日予定)は肺がん

肝臓がんは、ウイルス性肝炎や脂肪肝、肝硬変などを経て発生することが多い。国立がん研究センターの統計では、年約3万7000人がかかっている。

法④塞栓療法⑤免疫治療薬と分子標的薬の併用療法について、それぞれの治療を受けた人数を示した。

3週間ごとに点滴で2剤を投与する

分子標的薬 アバスチン

肝臓がん 進行前は手術・焼灼

主な医療機関の肝臓がん治療実績(2021年)

	①	②	③	④	⑤
北海道					
札幌厚生	64	51	75	81	60
北海道大	46	7	70	76	26
手稲溪仁会	29	14	82	71	16
旭川医大	29	11	8	45	21
札幌医大	24	9	22	25	20
市立函館	12	1	39	27	36
愛育	3	0	38	35	10
青森					
弘前大	20	3	4	72	20
岩手					
岩手医大	26	25	202	164	32
宮城					
石巻赤十字	24	14	13	5	4
東北大	22	7	57	62	17
仙台厚生	4	0	214	269	57
秋田					
市立秋田総合	8	5	10	12	14
山形					
山形大	6	0	43	42	25
福島					
太田西ノ内	29	4	15	36	—
県立医大	28	21	13	77	6
総合南東北	20	5	2	60	7
茨城					
土浦協同	25	8	10	47	40
県立中央	21	4	15	20	2
水戸済生会総合	3	0	47	8	7
栃木					
独協医大	54	6	5	105	30
自治医大	22	15	83	96	38
国際医療福祉大	22	22	13	0	10
群馬					
伊勢崎市民	12	0	49	83	13
桐生厚生総合	7	0	33	48	17
済生会前橋	6	0	128	24	30
国・高崎総合医療セ	5	0	41	34	28
埼玉					
埼玉医大国際医療セ	112	58	0	16	0
県立がんセ	88	38	0	23	21
埼玉医大総合医療セ	57	18	1	85	26
川口市立医療セ	42	19	3	10	4
上尾中央総合	37	36	28	10	24
東大宮メディカルセ	29	21	18	21	6
独協医大埼玉医療セ	26	6	9	27	10
さいたま赤十字	23	14	—	—	—
防衛医大	21	7	5	45	21
埼玉協同	20	7	1	31	1
埼玉医大	—	—	61	103	56
千葉					
千葉大	53	8	139	75	90
国立がん研究セ東	48	42	52	88	54
慈恵医大柏	41	25	4	1	0
新松戸中央総合	28	3	31	48	26
おおたかの森	25	0	18	41	2
順天堂大浦安	20	1	0	0	1
国保旭中央	11	1	73	43	15
東京					
虎の門	96	56	22	55	24
順天堂大	80	14	448	227	70
日大板橋	60	14	15	166	16
東京女子医大	58	29	19	53	26
東京大	55	10	229	103	41
がん研有明	42	15	40	44	21
慈恵医大	39	29	46	94	33
国立国際医療研究セ	33	11	15	43	5
日赤医療セ	18	1	67	22	10
東京医科歯科大	18	13	42	77	29
武蔵野赤十字	13	0	173	138	53
東京医大	13	2	82	34	50
東邦大大橋	11	7	45	50	10
都立墨東	10	3	37	38	15
三井記念	8	0	149	28	26
順天堂大練馬	6	1	52	72	25
N T T 東日本関東	3	1	299	8	21
国際医療福祉大三田	3	2	42	14	10
神奈川					
北里大	35	35	68	118	38
県立がんセ	31	4	48	64	55
東海大	30	7	25	58	40
湘南鎌倉総合	24	11	11	18	12
横浜市大病院	20	8	110	76	31
横浜市大市民総合医療セ	13	1	82	95	40
新百合ヶ丘総合	7	0	50	17	21
虎の門分院	0	0	38	68	14
新潟					
済生会新潟	—	—	188	143	25
富山					
富山大	15	3	78	25	15
石川					
金沢大	39	20	110	124	67
福井					
県済生会	17	9	10	143	20
山梨					
県立中央	41	25	3	12	12
山梨大	28	23	87	79	22
長野					
長野市民	8	6	34	7	20
岐阜					
大垣市民	68	52	45	88	21
県総合医療セ	30	9	26	27	2
岐阜市民	14	3	71	27	34
静岡					
県立総合	88	28	15	93	54
県立静岡がんセ	47	27	63	150	69
聖隷浜松	28	10	51	18	18
順天堂大静岡	18	1	34	102	12
市立静岡	17	4	71	49	2
愛知					
藤田医大	33	26	30	40	80
名古屋大	31	8	25	89	26
県がんセ	24	9	11	63	34
愛知医大	21	7	13	43	10
豊橋市民	5	4	30	62	4
三重					
市立四日市	6	0	21	10	7
滋賀					
大津市民	22	13	32	11	9
県立総合	21	5	5	6	4
京都					
府立医大	32	24	51	88	24
大阪					
大阪国際がんセ	69	34	146	63	25
大阪公立大	67	42	55	470	60
関西医大	57	48	10	140	66
大阪医科歯科大	46	30	56	51	17
大阪大	43	26	28	59	28
大阪市立総合医療セ	35	25	41	111	23
近畿大	32	22	119	111	117
済生会吹田	31	3	43	16	12
大阪警察	29	21	67	111	18
関西医大総合医療セ	18	8	33	74	34
大阪赤十字	11	9	84	164	40
堺市立総合医療セ	11	10	35	57	1
兵庫					
県立がんセ	87	41	0	—	10
神戸大	65	55	0	79	14
神戸市立医療セ中央市民	58	35	90	105	28
兵庫医大	43	21	86	42	17
姫路赤十字	34	12	153	29	68
明和	34	23	87	70	31
県立尼崎総合医療セ	22	15	10	42	16
奈良					
県立医大	35	14	97	43	57
県総合医療セ	34	19	24	64	34
天理よろづ相談所	18	8	43	32	13
和歌山					
県立医大	34	23	22	14	11
日赤和歌山医療セ	30	14	6	28	24
鳥取					
鳥取大	18	9	47	45	24
島根					
島根大	26	14	11	—	22
岡山					
倉敷中央	40	39	36	37	15
岡山大	33	17	110	125	30
広島					
広島大	108	45	20	130	80
福山市民	47	38	84	104	24
国・呉医療セ	42	26	30	46	10
市立広島市民	41	28	76	102	21
県立広島	24	0	0	47	12
広島市立安佐市民	22	5	17	52	3
J A 尾道総合	7	3	64	107	31
山口					
山口大	47	31	22	68	12
徳島					
徳島大	22	5	66	101	36
徳島赤十字	11	9	39	42	12
香川					
県立中央	23	10	37	102	25
香川大	17	10	69	81	37
愛媛					
愛媛大	52	21	72	101	15
県立中央	47	—	75	117	24
松山赤十字	44	14	129	133	22
高知					
高知医療セ	46	0	1	36	10
福岡					
久留米大	87	50	125	135	79
九州大	58	21	30	27	31
国・九州医療セ	50	32	22	66	42
福岡市民	41	41	8	31	7
北九州市立医療セ	36	14	8	39	38
小倉記念	30	27	6	27	—
国・九州がんセ	20	12	11	44	23
福岡赤十字	15	10	30	24	12
福岡大	14	10	74	1	21
佐賀					
佐賀大	50	41	24	14	5
好生館	36	25	25	63	9
長崎					
国・長崎医療セ	21	6	21	73	16
長崎原爆	21	14	1	36	12
熊本					
熊本大	140	94	45	111	48

薬物療法 免疫治療併用で効果

細胞を狙い撃ちする。20年9月、新たに免疫治療が公的医療保険の適用になった。「テセントリク(商品名)で、がん細胞が免疫細胞の働きにブレーキをかけるのを阻止し、がんを攻撃する力を保てるように作用する。分子標的薬「アバスチン」(同)と併用する。

虎の門病院肝臓センター部長の鈴木文孝さんは「併用療法の効果は高く、急速に使用が広がっている。ただ、点滴のため3週間ごとに通院する必要があり」とする。

肝臓は沈黙の臓器と呼ばれる。肝炎や脂肪肝でも、悪化するまで自覚症状は出にくい。鈴木さんは「健康診断で肝臓に関する数値が悪かったら、必ず精密検査を受けてほしい」と呼びかけている。(小屋敷晶子)